ルーツ＆アーツしらおい2025

白老をステージにしたアートプロジェクト「ルーツ＆アーツしらおい2025」が９月19日～10月13日、町内の各会場で行われました。「巨大パッチワーク～白老と世界の人々を紡ぐ文化の手仕事」「映像展示　Time　Travel Shiraoi」など六つの企画展示と四つの常設展示が来場者の目を引きました。

しらおい経済センターで開かれた「ウタルニ～仲間とともに。刺しゅうにまつわる女性の手仕事」には11人から51点の作品が寄せられていました。

アートプロジェクトは５年目の取り組みです。今回も文化庁の補助を受けて実施、白老の文化を町内外に発信しました。

「ウタルニ～仲間とともに。刺しゅうにまつわる女性の手仕事」

まちはキャンバス　チョークでアート2025

白老町文化団体連絡協議会が主催する「まちはキャンバス　チョークでアート2025」と白老町商工会青年部の「しらおいまるごとグルメフェア」が９月14日、ポロトミンタゥで行われました。このうち、一般社団法人SIRAOI PROJECTSが協力した「チョークでアート2025」には子どもと保護者200人が参加して、カラフルなチョークでドラえもんやオムライスなど思い思いの絵を楽しそうに書いていました。

グルメフェアには13店舗が出店。白老牛の串焼きや和菓子の販売のほか、キッチンカーもお目見えし、町民らでにぎわいました。

チョークアートを楽しむ子どもたち

ご近所野菜市　福祉に30,780円

社会福祉法人の白老宏友会の地域共生型事業「ご近所野菜市」が７月12日～９月13日、ミナピエノ駐車場で行われました。

野菜市は今年で13回目です。今年は８店が出店、家庭菜園で育てたジャガイモやトウモロコシなどが販売されました。出店者からは客に「笑顔券」（10円換算）が渡され、客が選んだ福祉活動へ投かんする取り組みです。今年は８回の集計で30,780円となり、出店者代表の山下透さんからNPO法人御用聞きわらびに9,900円、こども食堂ウタルに12,250円、NPO法人お助けネットに8,630円が贈られました。

寄付を手渡す山下さん